

# 福井県屋外広告物審議会 会議録

## 【第3回】

日 時 平成26年10月28日（水） 10:00～12:00

場 所 福井県庁3階 第4委員会室

## ■ 日時、場所

- ・平成26年10月28日（火） 10:00～12:00
- ・福井県庁 3階 第4委員会室

## ■ 出席委員

- ・野嶋会長、内村委員、水上委員、原田委員、塩出委員、津田委員、木下委員、梅田委員、宮崎委員、中屋委員

## ■ 概要

### <屋外広告物規制の見直しについて>

#### ○ 事務局からの説明

- ・規制内容見直しの背景や方針、今後のスケジュールを説明

#### ○ 審議会委員の意見・指摘

##### 【委員】

- ・景観を良くしていくことについて、基本的には良いことだと思う。
- ・条例改正によって、新たな基準に適合しなくなる広告物については、経過措置期間を設けるとともに、撤去や改修にかかる補助制度の創設を検討すべきである。

##### 【委員】

- ・広告物が集中する事で減殺効果が進むという研究結果が示されている。9月に開催された広告景観フォーラムの時にも発言したが、走行シミュレーションの実証実験で、沿道に設置されている屋外広告物はあまり効果が無いという結果が出ていたと思う。
- ・広告物の集中による影響だけではなく、沿道に野立看板を設置する効果についても触れていただけるとありがたい。

##### 【委員】

- ・前回審議会の意見を受けてかなり分かりやすくなったと思うが、屋外広告物の役割の説明において、「情報提供を担う」と「宣伝効果やイメージ発信を担う」という役割が趣旨として重複している。
- ・まちの安全・安心ということが2番目に来て、3番目が景観形成、屋外広告物の役割としてはその3つで良いと思う。
- ・規制見直しの理由として、福井県を取り巻く高速交通体系の進展に伴い、地域間競争が激しさを増すということと、ふるさと福井に誇りを持てる景観づくりを進めることをあげているが、この2つは実際あまり関係がない。
- ・地域間競争がどうであれ、福井県として誇りを持てる景観を形成するため、屋外広告物の規制を見直すという精神をうたえば良いと思う。

##### 【委員】

- ・新幹線や高速道路をはじめとした高速交通体系の進展があったから規制内容

を見直すのではなくて、県民がふるさと福井に誇りを持てるようにするため、良好な景観づくりを推進するというのが本来あるべき考え方である。